

2019 年度 実践女子大学 派遣留学報告書

留 学 先	檀国大学校		
留学先での所属	国際語学院		
派遣期間	2019 年 9 月～2020 年 2 月		
滞在先	学生寮		
本学での所属	英文学科	派遣時学年	2 年

留学を通して達成した事、留学で得たこと

今回、檀国大学での留学生活を通して得た一番大きなことは、積極性だと思う。今まで、積極的に物事に取り組む方ではなかったが、異国で生活する中で、様々な国の友達と交流する機会を増やすためには積極性が大切だということに気づいた。自分から積極的に国際交流のイベントに参加したりして、友達を増やすことができた。また、韓国の学生たちの勉強する様子を見て刺激を受け、テスト期間に図書館に通ったり自習室で勉強したりする習慣をつけることができた。

次年度以降の派遣留学へ伝えたい事/メッセージなど

今回、私の留学生活は予定と違って一年ではなく半年になってしまったが、とても充実した 6 か月になった。語学堂では様々な国の友達と一緒に、とても良い環境で勉強できた。平日は毎日授業があるので、着実に韓国語の実力が上がっていく実感があった。また、日本語を韓国の学生に教えるチュータリングという授業を通して、韓国人の学生と交流する機会を増やすことができたので、チュータリングは是非やることをお勧めする。一年間の長期留学の場合、大学の授業が休みの間にはグローバルビレッジと呼ばれる活動もあるが、日本人の数によっては開講されない年度もあり、私の行ったときは開講されずに、冬休みの期間は語学堂の授業以外にこれといった活動をできなかった。大学の授業があるうちに韓国人の友達を増やしたり、サークル活動に参加したりと積極的に活動の場を広げておくといいと思う。韓国語の実力に関しては、私は実践でのコリア語 1a の授業を履修して、韓国語が読めるようになっただけの段階で留学したが、授業をまじめに受ければすぐに実力は伸びるし、三か月もたてば日常生活の会話は困らないくらいになるので、実力がないからと留学を不安に思う必要はないと思う。ただ、留学してすぐに、語学堂の授業に加えて大学の授業も履修して、単位を多めに取りたい場合は、なるべく韓国語の実力があつたほうが良いと思う。韓国の大学の授業は、レポートや試験などが大変なものも多いので、はじめのうちは語学堂に集中して、午後の時間をチュータリングやサークル活動などに充てることで、韓国語に慣れていくのもお勧めだ。韓国留学では様々な活動を通して国際交流もできるので、楽しんでほしい。

韓国 2019 留学帰国後アンケート (滞在期間 2019年8月~2020年2月)

質問	回答
クラスの数・国籍比率など	級によって人数は違うが、語学堂は一クラス 10-25 人程度で、ほとんどが中国人。インドネシア人などアジア系の学生も 2.3 割はいる。
授業のシステムや進め方について (日本との違いなど)	語学堂の授業は平日の 9 時から 13 時までで、教科書を使って単語、文法、読み、筆記、会話の勉強をした。大学の授業は午後から。一コマ 1 時間半。
一か月に使った費用の平均と内訳	一か月 7 万円くらい (食費 4 万円、ケータイ 3000 円、交通費 5000 円、趣味に 2.2 万円くらい)
航空券費用 (往復)	アジアナのオープンチケットで 70000 円くらい (買ったときのレートがよかった)
現金はどのくらい持っていったか	40 万くらい
現地での主な支払い方法 (現金・カードなど)	寮費や交通費、ケータイ料金などは現金で、その他はほとんどカード
現地での手続き (あれば)	銀行口座の開設、ケータイの契約、外国人登録
電話・通信について (SIM の購入など)	I phone の SIM ロックを解除して、韓国で SIM を購入して入れ替えて使った。10 ギガで月 3300 円くらい。
持参した方が良いもの	インスタントの日本食、配れる日本のお菓子、肌に合う化粧水、生理用品など
持参したが必要なかったもの	冬物のアウター (寒すぎて結局ロングパディンを買った) 日本製のヘアアイロン (電圧の関係で壊れて新しく買った)、洗剤
持って行った荷物の量・内訳	一週間分くらいの洋服、タオル、生活用品 (スキンケア系、生理用品、洗面用具など)、最低限の文房具、必要な書類など
食事について (朝・昼・晩それぞれどうしていたか)	朝は、コンビニで買ったキンパやおにぎり、パン、ヨーグルトなどを食べて、お昼は学食か学校の周りのお店、夜はコンビニかレトルトか外に食べに行く
休日の過ごし方	基本的にソウルに遊びに行ってカフェ巡りやショッピングをしたり、ごはんを食べに行く、長期休みは旅行も行った。コンサートや歌謡祭も行った。

<p>入国当日について 空港→寮への移動の仕方 や入寮の手続き</p>	<p>空港に迎えに来てくれるので、空港に集まってバスに乗って寮まで向かった。寮の前で説明を聞いて、カードキーを兼ねる学生証をもらって入寮した。次の日に日本人で集まって説明を受けた。</p>
<p>滞在先（寮名称） 大学までの通学方法・距離 や時間</p>	<p>寮の名前は「ウンビホール」、大学のキャンパス構内にある。キャンパスの一番奥なので、語学堂の教室まで徒歩 15 分くらいかかる。大学の正門までは構内を走るバスに乗って移動する。</p>
<p>寮の住人について （国籍や性別など）</p>	<p>希望すると韓国人のルームメイトと二人部屋になれる。韓国人は長期休みになるとほとんど実家に帰ってしまうが、残りは中国人が多い。男女は棟が分かれているが、食堂や団らん室、ジムは兼用。</p>
<p>寮でのトラブル</p>	<p>立地が悪い。寮の近くに牧場があるので悪臭がひどい。人によってはルームメイトの騒音やゴミ問題に悩んでいる人もいた。長期休みは食堂が閉まる。コンビニがつぶれて大変だった。</p>
<p>退寮時の手続きについて （どんな手続きが必要か）</p>	<p>特に手続きは必要なく、退寮の日を担当の人に伝えてそのまま帰国した。</p>
<p>留学前に心配していたこと ⇔ 実際どうだったか</p>	<p>韓国語があまり話せない状態で行ったので語学の実力面で心配だったが、他の国の学生に比べて、韓国語の文法が日本語と似ている分、日本人が一番上達が早かったと思う。</p>
<p>留学先大学の サポート体制について</p>	<p>担当の人は、困ったことがあれば相談に乗ってくれるし、手続きなども早急に行ってくれるが、基本的に生活には干渉してこないのが自由でできた。GTNという国際交流の団体の友達が留学生生活をサポートしてくれた。</p>
<p>その他</p>	<p>始めは言語力もあまりなくて、着いてすぐ色々な手続きをしないとイケなかったのが大変かと思ったけれど、手続きのほとんどは面倒なこともなくすぐ終わったので拍子抜けしたくらいでした。</p>